

2020年3月期 第2四半期 決算説明資料

2019年11月8日

共同印刷株式会社

(証券コード：7914)

2020年3月期 第2四半期 業績概要	3
営業利益の増減分析	4
セグメント別 売上高・利益	5
セグメント別 業績概要	
情報コミュニケーション	6
情報セキュリティ topic : 法人決済ソリューション事業への参入	7-8
生活・産業資材 topic : ブローボトル事業への参入	9-10
連結貸借対照表	11
連結キャッシュ・フロー計算書	12
2020年3月期 中間配当について	13
2020年3月期 通期業績予想	14
2019年3月期～2021年3月期 中期経営計画の進捗状況	
経営目標数値	16
2020年3月期～2021年3月期の主要施策	17
設備投資・減価償却費	18

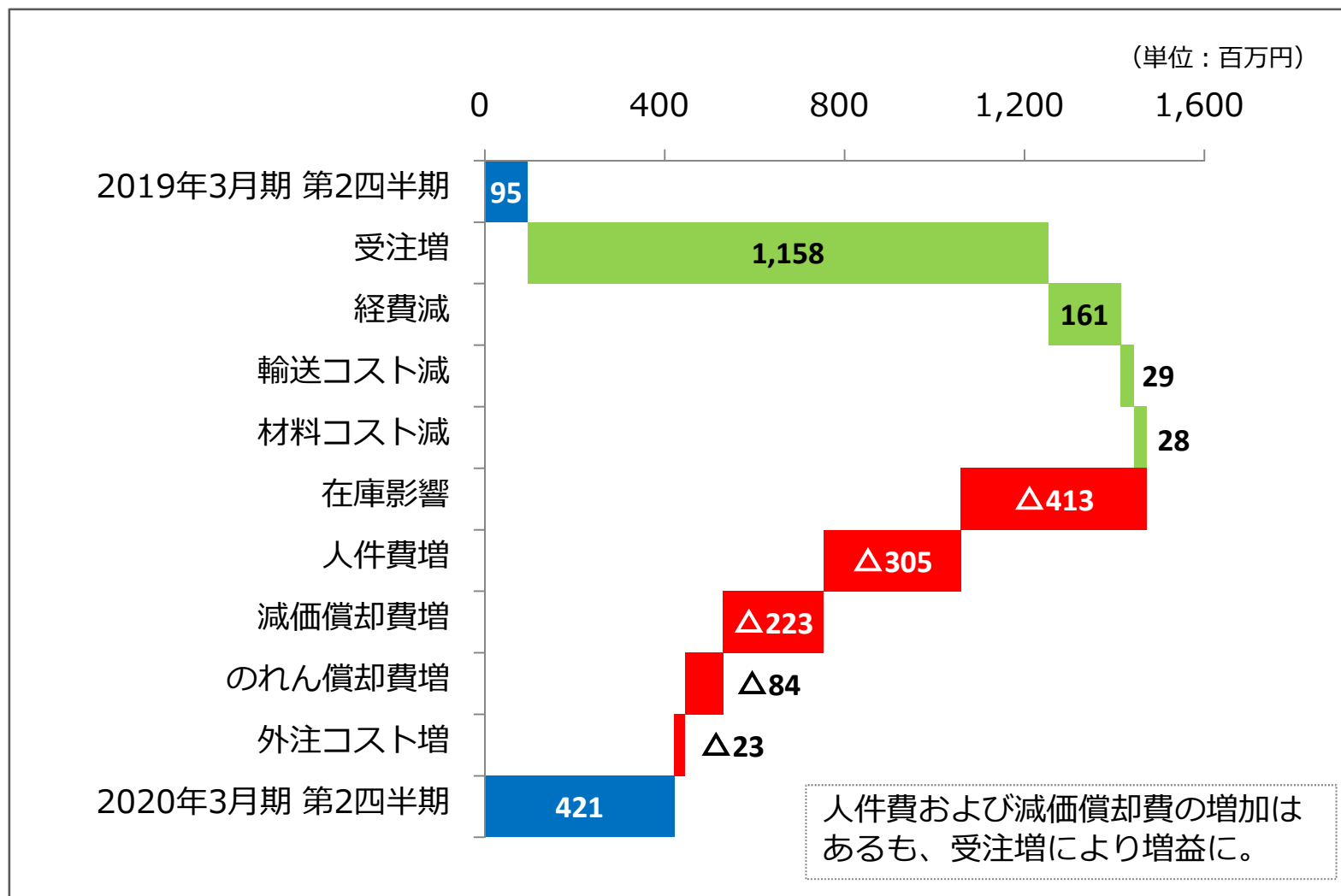
(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期実績	2020年3月期 第2四半期実績	前年同期比
売上高	45,989	48,593	+ 5.7%
営業利益	95	421	+ 343.4%
経常利益	529	827	+ 56.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	72	397	+ 446.7%

業績のポイント

- ① 共同日本写真印刷(株)の連結子会社化による一般商印の増加、BPO・証券類およびチューブの受注増により売上高が増加した。
- ② 設備投資やM&A、人材確保に向けた費用などのコストが増加しているものの、情報セキュリティ部門の増益により、グループ全体で増益となった。

営業利益の増減分析



セグメント別 売上高・利益

(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	前年同期比
売上高 ※1	45,989	48,593	+5.7%
情報コミュニケーション	17,401	18,330	+5.3%
情報セキュリティ	15,253	16,027	+5.1%
生活・産業資材	12,398	12,894	+4.0%
その他	936	1,341	+43.3%
セグメント利益	95	421	+343.4%
情報コミュニケーション	△693	△389	—
情報セキュリティ	652	817	+25.3%
生活・産業資材	81	△123	—
その他	80	76	△5.3%
調整額 ※2	△26	40	—
経常利益	529	827	+56.4%

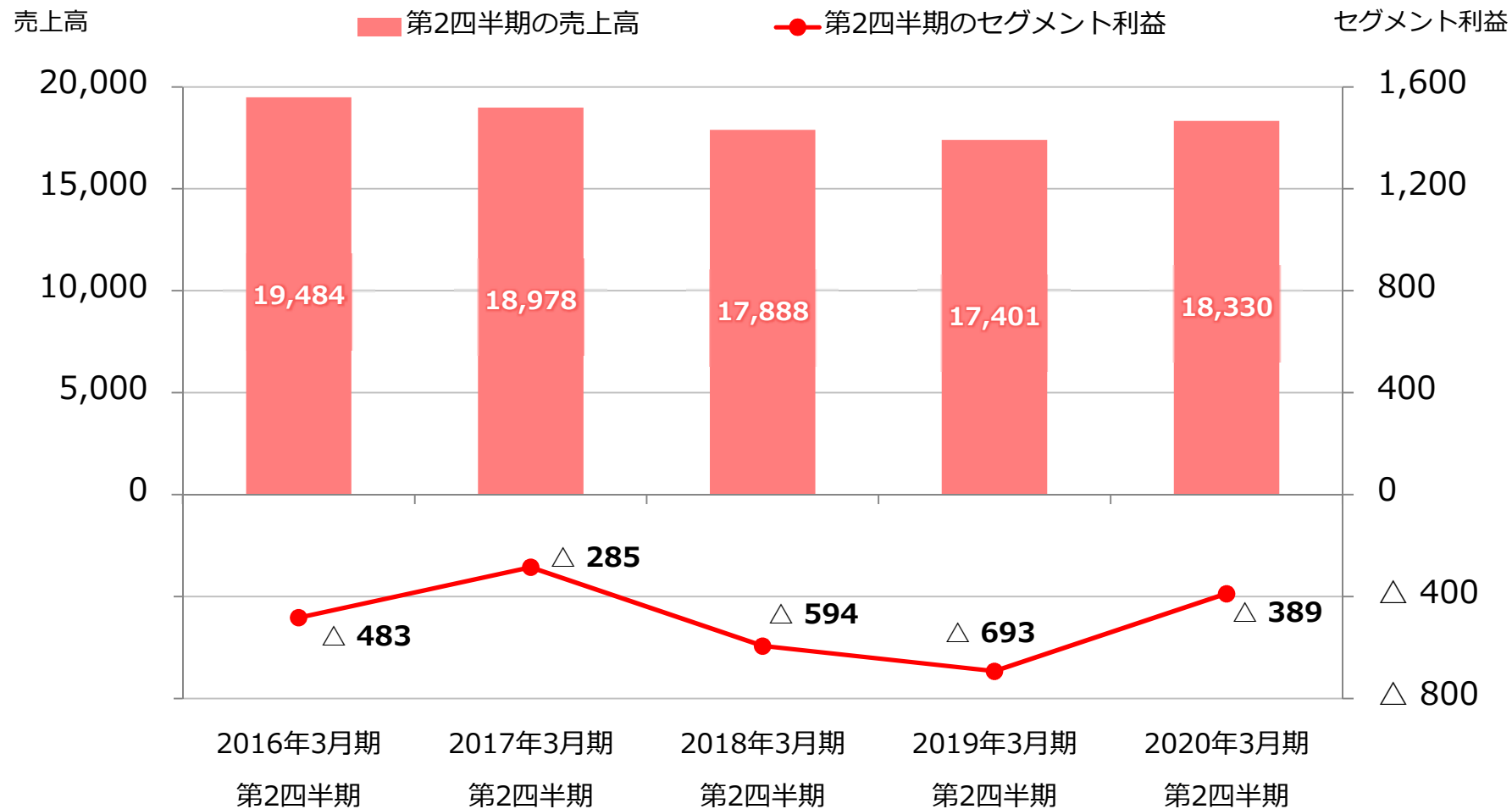
※1 セグメント別売上高は、外部顧客に対するものです。

※2 「調整額」は全社費用です。

セグメント別業績【情報コミュニケーション】

(単位：百万円)

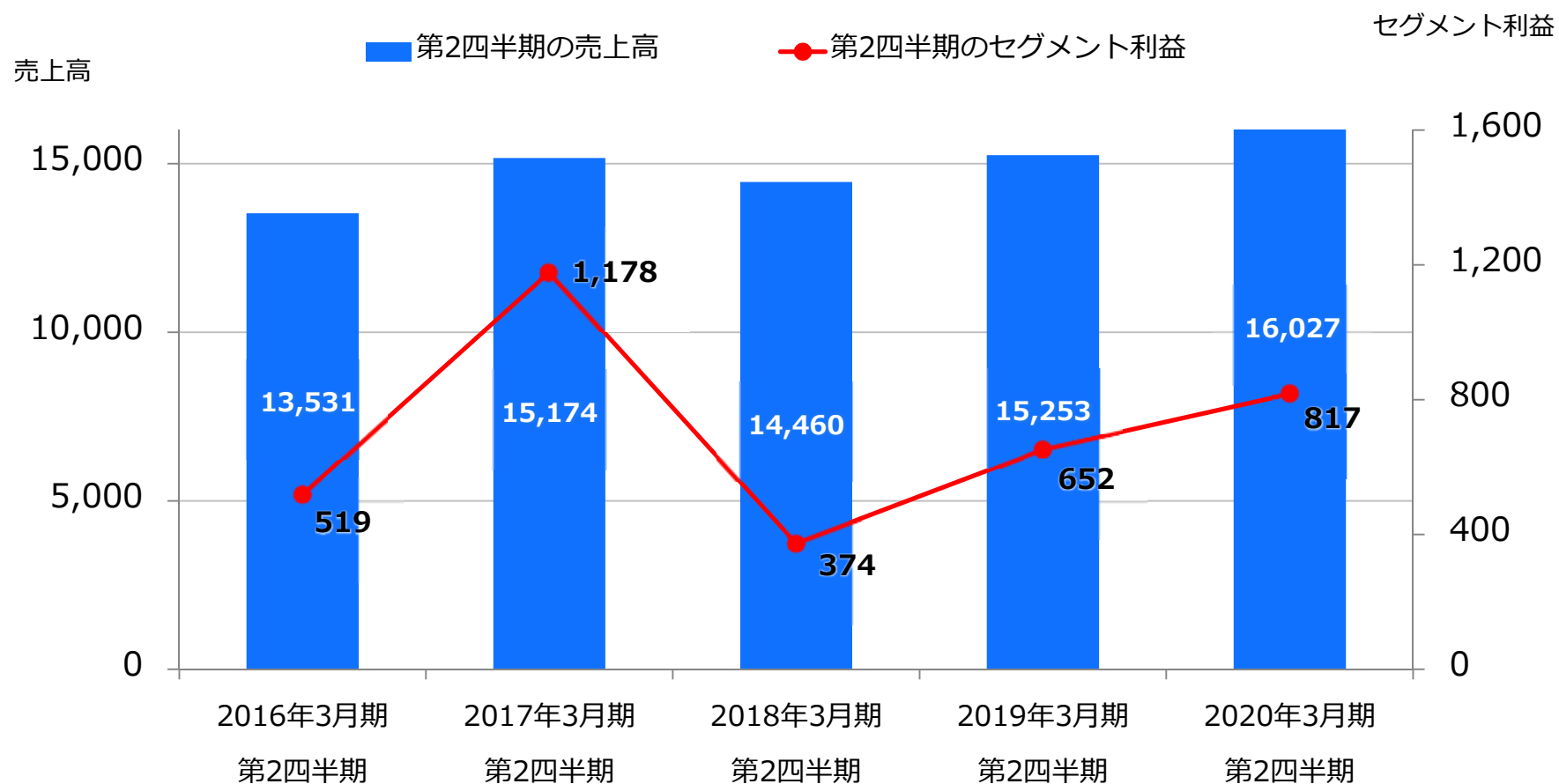
5年間の推移



セグメント別業績【情報セキュリティ】

(単位：百万円)

5年間の推移



「Bizプリカ」サービス概要

予め入金した範囲内で従業員がカードを利用できる事業経費専用の法人向けプリペイドカード

申込方法	オンライン申込
申込条件	法人のみ対象
国際ブランド	Mastercard®
代表さいふへの入金方法	口座振込
カードへのチャージ方法	オンライン操作
カードへのチャージ上限額	1回あたり50万円、1日あたり50万円、 1ヶ月あたり100万円、1年あたり1,200万円
サービスの利用料	月額100円（税抜）/枚
5年後の目標売上高	5億円

【導入のメリット】

- ・“前払い方式”のため与信管理が不要。中小企業でも容易に導入できるほか、外国人や派遣労働者など幅広い層の従業員に配付が可能。
- ・経費精算システムとの連携による経費処理の効率化、“前払い方式”による経費の使いすぎ防止、経費立て替えの負担削減など、経費管理と従業員の働き方改革に大きく貢献。

TOMOWEL Payment Service (株) の概要

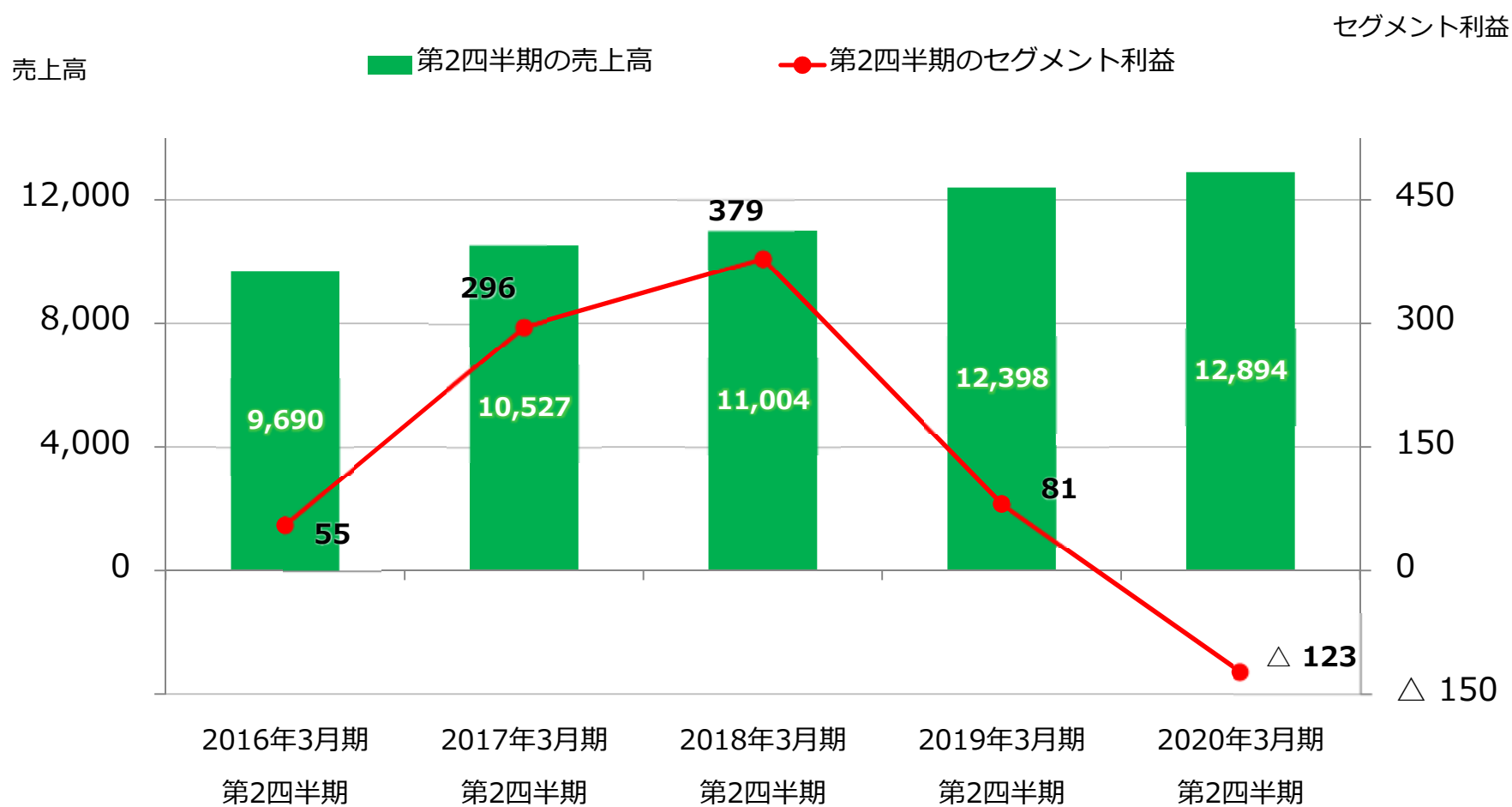
会社名：TOMOWEL Payment Service株式会社
 本社所在地：東京都文京区小石川四丁目14番12号（共同印刷 本社内）
 代表者：大橋輝臣
 資本金：90百万円（出資比率：共同印刷(株)100%）



セグメント別業績【生活・産業資材】

(単位：百万円)

5年間の推移



ブローボトル事業概要

生活・産業資材部門の新規事業として(株)クレハからブローボトル事業を承継。
既存のブローボトルのほか機能性製品の開発・製造を行い、事業拡大をめざす。
2019年11月1日より共同クレハブローボトル(株)にて製造開始。

5年後の目標売上高：30億円（外装包材の受注増等を含む）



- ブローボトルとは
酸素バリア性に優れたEVOH樹脂を使用し、内外層にオレフィン樹脂を用いた多層プラスチック容器。
用途や内容物に応じて樹脂を使い分け、柔らかい「軟質」ボトル、硬い「硬質」ボトルがある。
- 主な使用用途
 - ・ケチャップ、マヨネーズ等の粘体調味料
 - ・ソースやドレッシングなどの液体調味料

共同クレハブローボトル（株）の概要

会社名：共同クレハブローボトル株式会社
本社所在地：茨城県小美玉市上玉里2221番地
代表者：土屋博明
資本金：45百万円（出資比率：共同印刷(株)75%、(株)クレハ25%）

連結貸借対照表

- ・売上債権の減少等により、資産は前期末比3,502百万円減少。
- ・設備関係債務の減少等により、負債は前期末比2,131百万円減少。

(単位：百万円)

	2019年3月期末	2020年3月期 第2四半期末	前期末差額	増減率
流動資産	47,859	45,593	△2,265	△4.7%
固定資産	77,531	76,295	△1,236	△1.6%
資産合計	125,390	121,888	△3,502	△2.8%
流動負債	35,163	31,765	△3,397	△9.7%
固定負債	26,842	28,108	1,266	+4.7%
負債合計	62,005	59,874	△2,131	△3.4%
純資産合計	63,384	62,014	△1,370	△2.2%
負債純資産合計	125,390	121,888	△3,502	△2.8%
自己資本比率	50.5%	50.9%		+0.4 p

連結キャッシュ・フロー計算書

営業CF：売上債権の減少、法人税等の支払額の減少

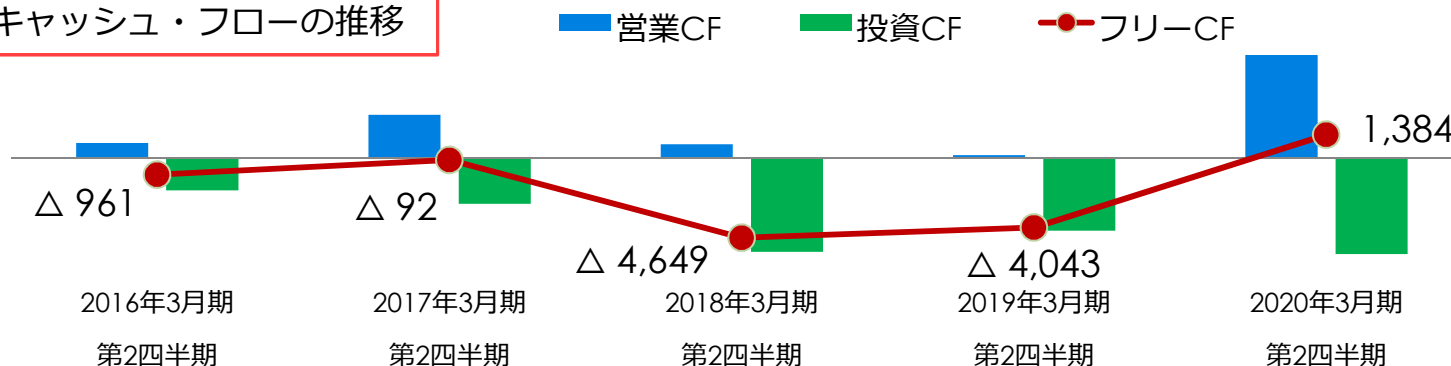
投資CF：固定資産の取得による支出の増加

財務CF：自己株式の取得による支出の増加

(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	196	6,988	6,792
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,239	△5,603	△1,364
フリー・キャッシュ・フロー	△4,043	1,384	+5,427
財務活動によるキャッシュ・フロー	△632	△1,088	△456
現金及び現金同等物の期首残高	14,606	10,432	△4,174
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,860	10,764	+904
EBITDA	2,778	3,429	+651

フリー・キャッシュ・フローの推移



- ・ 2019年11月8日開催の取締役会において、第140期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の中間配当について以下の通り決議しましたので、お知らせいたします。

- | | |
|----------|------------|
| 1. 中間配当金 | 1株につき50円 |
| 2. 効力発生日 | 2019年12月9日 |
| 3. 配当原資 | 利益剰余金 |

※期末配当金については、1株50円を予定しております。

2020年3月期 通期業績予想

・通期予想は期初予想から変更なし。

(単位：百万円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	前期比
売上高	97,782	104,000	+ 6.4%
情報コミュニケーション	39,168	42,000	+ 7.2%
情報セキュリティ	31,165	31,500	+ 1.1%
生活・産業資材	25,270	28,000	+ 10.8%
その他	2,178	2,500	+ 14.8%
営業利益	1,027	1,700	+ 65.5%
情報コミュニケーション	△828	100	—
情報セキュリティ	1,412	1,400	△0.8%
生活・産業資材	208	500	+ 140.4%
その他	369	△300	—
経常利益	1,748	2,400	+ 37.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,105	1,600	+ 44.8%
期末配当金（1株あたり）	50円	50円	—

2019年3月期～2021年3月期 中期経営計画の進捗状況

経営目標数値

	2019年3月期 計画	2019年3月期 実績	2020年3月期 計画	2021年3月期 計画
売上高	1,000億円	977億円	1,040億円	1,080億円
情報系事業	710億円	703億円	735億円	750億円
生活・産業資材系 事業	270億円	252億円	280億円	300億円
その他	20億円	21億円	25億円	30億円
営業利益	26億円	10億円	17億円	35億円
情報系事業	15億円	5億円	15億円	19億円
生活・産業資材系 事業	9億円	2億円	5億円	12億円
その他	2億円	3億円	△3億円	4億円
経常利益	34億円	17億円	24億円	42億円
ROE		1.7%	2.2%	5.0%
EBITDA		66億円	82億円	100億円

※ EBITDA = 営業利益 + 受取利息・配当金 + 減価償却費 + のれん償却費で計算

※ 営業利益の「その他」には調整額を含む

2020年3月期～2021年3月期の主要施策

事業別施策	情報系事業	<ul style="list-style-type: none"> ・電子書籍、デジタル教材等のデジタルコンテンツの受注拡大 ・販促支援ソリューションの受注拡大 ・医療、ヘルスケア分野におけるBPOの受注拡大 ・法人決済ソリューション事業の立ち上げ
	生活・産業資材系事業	<ul style="list-style-type: none"> ・守谷第一工場の軟包装専用棟の活用によるリキッドパッケージの受注拡大 ・日本国内および東南アジア市場でのチューブ事業拡大に向け、生産力を増強（和歌山工場増設、ジャカルタ工場新設） ・M & Aによるブローボトル事業への新規参入
構造改革	<ul style="list-style-type: none"> ・管理部門業務へのRPA導入推進 	
働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> ・モバイルワーク、サテライトオフィスの拡充 	
企業価値向上	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な設備投資およびM & Aの実施 ・投資有価証券の売却 ・自社株買いの実施 	

設備投資・減価償却費

(単位：百万円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 計画	2020年3月期 第2四半期実績	2021年3月期 計画	3カ年合計
情報系事業	2,375	2,375	929	2,550	7,300
生活・産業資材系 事業	9,495	5,055	1,128	1,650	16,200
その他	2,768	1,930	364	800	5,500
グループ全体	14,639	9,360	2,423	5,000	29,000
上段：設備投資額 下段：減価償却費	5,028	5,800	2,633	6,200	

2020年3月期以降の主な設備投資

生活) 和歌山工場3号館増設/生産設備増設(約25億円) ※2019年10月竣工
 生活) ジャカルタ工場新設/生産設備増設(約6億円) ※2019年12月竣工予定
 情コミュ) デジタル印刷~加工ライン導入(約3億円)

当資料は、投資家の皆さまに共同印刷株式会社への理解を深めていただくことを目的として、経営や財務に関する情報を提供するものです。

以下の点をご了解の上、ご覧ください。

- ・業績見通し等は、作成時点において当社が予測する範囲内で作成したものです。
- ・記載の業績見通し等とは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおりますことをご承知ください。
- ・投資に関する決定は、投資家ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- ・掲載内容については細心の注意を払っておりますが、不可抗力によって情報に誤りを生ずる可能性もございますので、ご注意下さい。

(お問い合わせ先)

〒112-8501 東京都文京区小石川4丁目14番12号

連絡先:共同印刷株式会社 コーポレートコミュニケーション部

TEL:03-3817-2071(9:30~17:30、土日・祝日を除く)

E-mail : koho@kyodoprinting.co.jp

H P : <https://www.kyodoprinting.co.jp/>